

令和7年度第1回全国科学博物館協議会理事会・総会開催要項

令和7年7月3日（木）

会場：国立科学博物館（所在地：東京都台東区上野公園 7-20）

【理事会】日本館4階 大会議室

11：00 ～ 入室開始（オンライン参加入室開始）

11：30 ～ 13：00 理 事 会

- ・令和6年度事業報告について（案）
- ・令和6年度収支決算について（案）
- ・令和7年度事業予定について（案）
- ・全国科学博物館協議会理事会運営規程の改正について（案）
- ・令和8年度以降の理事館数について
- ・その他

【総 会】日本館2階 講堂

13：00 ～ 受 付（オンライン参加入室開始）

13：30 ～ 13：35 挨 拶 全国科学博物館協議会理事長 篠田 謙一

13：35 ～ 14：25 議 事

- ・令和6年度事業報告について（案）
- ・令和6年度収支決算について（案）
- ・令和7年度事業予定について（案）
- ・全国科学博物館協議会理事会運営規程の改正について（案）
- ・令和8年度以降の理事館数について
- ・その他

14：25 ～ 14：30 国際プラネタリウム協会 2026 国際大会 in 福岡の開催について
IPS2026 国内組織委員長（福岡市科学館館長） 矢原 徹一 氏

14：30 ～ 15：00 海外先進施設調査報告 東京農工大学科学博物館 上田 裕尋 氏

15：00 ～ 15：30 海外先進施設調査報告 多摩六都科学館 佐々木 有美 氏

15：30 ～ 15：45 休 憩

15：45 ～ 16：45 記念講演

森美術館長（兼）国立アトリサーチセンター長 片岡 真実 氏

【情報交換会】日本館2階 講堂

17：00 ～ 18：15 情報交換会（参加費：一人1,000円）

※入退室自由。領収書が必要な方は、出欠回答時にあわせてお知らせください。

徴収した参加費に余剰が生じた場合は、雑収入として全科協の会計に計上いたしますので、ご承知おきください。

※現地参加者で受付時間に間に合わない場合、休憩時間や閉会後に受付を行います。事務局にお声がけください。

令和7年7月4日（金）

会場：千葉市科学館（所在地：千葉県千葉市中央区中央4丁目5-1）

【施設見学】

10：30 ～ 10：50 集合・受付

10：50 ～ 11：40 概要説明・施設見学

11：40 ～ 11：50 プラネタリウムデモ投影

11：50 施設自由見学・解散

※受付時間厳守。受付時間以外は受付を設けておりませんので、入館料をご負担のうえご入館ください。

令和7年度第1回全国科学博物館協議会総会 次第

令和7年7月3日（木）

13：30～16：45

国立科学博物館 講堂

及び オンライン

1. 理事長挨拶

2. 加盟館園の状況について

3. 議事

- (1) 令和6年度事業報告について(案)
- (2) 令和6年度収支決算について(案)
- (3) 令和7年度事業予定について(案)
- (4) 全国科学博物館協議会理事会運営規程の改正について（案）
- (5) 令和8年度以降の理事館数について
- (6) その他

4. 話題提供 国際プラネタリウム協会 2026 国際大会 in 福岡の開催について

5. 海外先進施設調査報告

(休 憩)

6. 記念講演

配付資料

- 資料1 全国科学博物館協議会 加盟館園の状況
- 資料2 全国科学博物館協議会 令和6年度事業報告（案）
- 資料3 全国科学博物館協議会 令和6年度収支決算（案）
- 資料4 全国科学博物館協議会 令和7年度事業予定（案）
- 資料5 全国科学博物館協議会 理事会運営規程 新旧対照表（案）
- 資料6 全国科学博物館協議会 理事館について
- 資料7 国際プラネタリウム協会 2026 国際大会 in 福岡の開催について

(参考資料)

- 参考資料1 全国科学博物館協議会 令和7年度役員館園名簿
- 参考資料2 全国科学博物館協議会 加盟館園名簿
- 参考資料3 全国科学博物館協議会 会則
(会費規程、総会運営規程、理事会運営規程含む)

全国科学博物館協議会 加盟館園の状況

1. 館園数

令和7年7月3日現在

区 分	令和6年度 第2回総会時 (令和7年2月12日)	令和7年度 第1回総会時 (令和7年7月3日)	内 訳		増△減
			入会	退会	
正 会 員	2 1 8	2 1 6	3	5	△ 2
維持会員	1 9	2 0	1	0	1
購読会員	1 2	1 2	0	0	0
計	2 4 9	2 4 8	4	5	△ 1

2. 入退会館園

(令和7年2月12日～令和7年7月3日)

区 分	館 園 名	種 別	備 考
退 会	入間市博物館 ALIT	正 会 員	運営上の都合による
退 会	パナソニックセンター東京 AkeruE	正 会 員	施設閉館のため
退 会	東芝未来科学館	正 会 員	一般公開終了のため
退 会	東海大学海洋科学博物館	正 会 員	一般公開終了のため
退 会	雲仙岳災害記念館	正 会 員	諸事情による
入 会	航空科学博物館	正 会 員	
入 会	岩国市科学センター	正 会 員	
入 会	東日本大震災・原子力災害伝承館	正 会 員	
入 会	株式会社ロココ	維持会員	

令和6年度 事業報告 (案)

資料2

全国科学博物館協議会

1 管 理 運 営

事 項	内 容
第1回 理事会	期 日 令和6年7月4日（木） 会 場 国立科学博物館 大会議室及びオンライン 出 席 館 出席：20館（監事館を含む） 現地：18館 オンライン：2館 議 事 次の議事について審議し、承認された。 1) 令和5年度事業報告（案）について 2) 令和5年度収支決算（案）について 3) 令和6年度事業予定（案）について 4) 全国科学博物館協議会研究発表大会運営委員会について（案） 5) その他
第1回 総 会	期 日 令和6年7月4日（木） 会 場 国立科学博物館 講堂及びオンライン 出 席 館 出席者：157名うち現地103名（正会員93館園及び維持会員12団体、購読会員4団体） 委任状提出：86館園・団体（正会員83館園及び維持会員3団体） 議 事 次の（1）～（4）の議事について審議し、承認され、（5）について報告された。 1) 令和5年度事業報告（案）について 2) 令和5年度収支決算（案）について 3) 令和6年度事業予定（案）について 4) 全国科学博物館協議会研究発表大会運営委員会について（案） 5) 2024年世界自動車博物館会議日本大会の進捗状況について 6) その他 海外先進施設調査報告 福井県立恐竜博物館 関谷 透 新江ノ島水族館 なぎさの体験学習館 笠松 舞 行政説明 「博物館振興について」 文化庁 文化戦略官／博物館振興室長 高井 絢 記念講演 「ミュージアムへ行こう！」 毎日新聞客員編集委員 元村 有希子 施設見学 令和6年7月5日（金） 見学先：東京ガス株式会社 がすてなーに ガスの科学館
第2回 理事会	期 日 令和7年2月12日（水） 会 場 兵庫県立人と自然の博物館及びオンライン 出 席 館 出席：18館（監事館を含む） 委任状提出：2館 議 事 次の議事について審議し、承認された。 1) 全国科学博物館協議会総会運営規程の改正について（案） 2) 令和7年度事業計画及び収支予算について（案） 3) 世界自動車博物館会議2024事業報告及び収支決算について（案） 4) 令和7年度の役員館園について（案） その他 特になし
第2回 総 会	期 日 令和7年2月12日（水） 会 場 兵庫県立人と自然の博物館及びオンライン 出 席 館 出席者：140名（正会員75館及び維持会員7団体、購読会員1団体／会員外参加者2名） 委任状提出：76館・団体（正会員72館及び維持会員4団体） 議 事 次の議事について審議し、承認された。 1) 全国科学博物館協議会総会運営規程の改正について（案） 2) 令和7年度事業計画及び収支予算について（案） 3) 世界自動車博物館会議2024事業報告及び収支決算について（案） 4) 令和7年度の役員館園について（案） その他 令和8年度の第2回理事会・総会の会場について、ご協力をお願い 行政説明 博物館振興施策等概要説明 文化庁 博物館振興室 博物館支援調査官 中尾 智行

	研修報告 全科協海外科学系博物館視察研修報告 産業技術総合研究所 地質標本館 館長 森田 澄人 報 告 生物多様性情報標準化会議 ・ 国際自然史標本保存学会 沖縄大会報告 大阪市立自然史博物館 学芸課長 佐久間 大輔 館内案内 兵庫県立人と自然の博物館概要説明 兵庫県立人と自然の博物館 館長 村上 哲明 ①オープン直前企画展「価値の手直し展Re: value EXP0」のご案内 ②新収蔵庫棟「コレクションナリウム」のご案内
--	--

2 事業 (1) 研修事業

事 項	内 容
学芸員専門研修 (アドバンスト・コース)	博物館の現状を幅広い観点から理解するとともに、資料の収集・保管、調査研究、展示、学習支援活動等について専門的、実践的な研修を実施した。 期 間 令和6年11月11日（月）～14日（木）（4日間） 共 催 者 国立科学博物館 内 容 海生無脊椎動物における研究・標本採集・管理の方法等 参 加 者 13名
オンライン学芸員 専門研修	博物館等に勤務する経験年数の少ない学芸員や職員等の方を対象に、一層の資質の向上を目的として研修を開催し、オンライン（Zoom）のライブ形式にて講義を行った。 期 間 令和7年2月17日（月）、18日（火）（2日間） 共 催 者 国立科学博物館 内 容 国立科学博物館人類研究部の研究活動や標本・資料の収蔵・活用等 参 加 者 24名
海外科学系博物館 視察研修	台湾の科学系博物館における展示技術、学習支援活動等について理解を深め、博物館の充実、発展に資することを目的として、(公財)カメイ社会教育振興財団の助成を受けて、海外視察研修を実施した。 期 間 令和7年1月14日（火）～20日（月）（7日間） 共 催 者 (一財)全国科学博物館振興財団 訪 問 館 国立台湾博物館、国立自然科学博物館（本館、分館車籠埔断層保存園區、 分館921地震教育園區）、国立科学工芸博物館、国立海洋科技博物館 参 加 者 22名（9館、3社）
海外先進施設調査	これからの博物館事業を支えていく若手職員を主として、海外の先進博物館を調査・研究する機会を提供することを目的として、(公財)カメイ社会教育振興財団の助成を受けて実施した。 内 容 3名の調査者が、各自でテーマを設定し、米国、シンガポール・インドネシア、イタリアの博物館、研究施設等を訪問し調査した。派遣者とテーマ、調査先は以下のとおり。 期 間 令和6年10月4日（金）～12日（土）（9日間） 調 査 者 東京農工大学科学博物館 上田 裕尋 テ ー マ 「大学博物館に収蔵される古い自然史標本の修復・教育研究利用の事例調査」 訪 問 館 イェール大学附属ピーボディー博物館 期 間 令和6年10月28日（月）～11月4日（月）（8日間） 調 査 者 国立科学博物館 田中 庸照 テ ー マ 「東南アジアの博物館等における寄付等外部資金の戦略について」 訪 問 館 リー・コンシェン自然史博物館、アートミュージアム、チルドレンズミュージアム（シンガポール）、 ボゴール植物園、ボゴール動物学博物館、国立自然史博物館（インドネシア） 期 間 令和6年11月9日（土）～16日（土）（8日間） 調 査 者 多摩六都科学館 佐々木 有美 テ ー マ 「レッジ・エミリア市で取り組まれているレッジ・エミリア・アプローチの現地調査」 訪 問 館 ローリス・マラグッツィ国際センター、REMIDA(クリエイティブリサイクルセンター)、 RODARI乳児保育園

(2) 連携促進事業

事 項	内 容
研究発表大会	科学系博物館に共通する課題や各館の活動成果について発表及び協議し、学芸員等博物館専門職員の活動の一層の充実に資することを目的とし、第32回研究発表大会を開催した。 期 日 令和7年2月13日(木)、14日(金) 会 場 兵庫県立人と自然の博物館及びオンライン 司会進行 福岡市科学館 高安 礼士、立正大学及び埼玉県立川の博物館 小川 義和 参 加 者 1日目：180名うち現地106名(会員外参加5団体)、2日目：132名うち現地75名(会員外参加3団体) テ ー マ 博物館が提供する様々な経験—教育、楽しみ、省察、知識共有の観点から ○口頭研究発表 25件 ① 博物館の資源を活用した中高生向け探究学習プログラムの開発 国立科学博物館 有田 寛之・小川 義和 トータルメディア開発研究所 高橋 伸幸・大塚 理恵・高安 礼士 学校法人文化杉並学園 染谷 昌亮・渡辺 翔大・成瀬 敦史 ② 火山防災の日を活用した火山教育 磐梯山噴火記念館 佐藤 公 ③ 探究学習に沿った学習教材の制作～探究学習プログラム～ 日本科学未来館 竹内 公彦 ④ 博物館を拠点とした地球科学分野の探究学習～第22回地震火山地質こどもサマースクールin平塚の例～ 平塚市博物館 野崎 篤 ⑤ 「教員のための博物館の日」における連携を通じた、多様な学習機会の提供 国立科学博物館 林 健太郎・濱村 伸治 ⑥ 名古屋市科学館におけるボーリングコア関連事業 名古屋市科学館 木田 梨沙子 ⑦ 北九州市スペースLABOにおける大型展示物に即したミニ実験教室の実施 北九州市科学館 川村 康文 ⑧ 多様な楽しみの創出を目指した分野横断的な企画展の実施 佐賀県立宇宙科学館 伊藤 辰徳 ⑨ 展示と地域を結ぶ巡回展「地球時間の旅」 糸魚川フォッサマグナミュージアム 香取 拓馬 ⑩ 博物館における合理的配慮とは？～千葉盲学校との連携を例に～ 千葉県立中央博物館 丸山 啓志 ⑪ 博物館を「SDGsを語る場」とするために必要な仕掛けと人材 大阪市立自然史博物館RISTEX事業の取り組みから 大阪市立自然史博物館 佐久間 大輔・松井 彰子 認定NPO 法人 大阪自然史センター 山中 亜希子・神山 雄人 ⑫ もっとみんなのための博物館になるために：M3プロジェクト実行委員会2022年度の活動から 大阪市立自然史博物館 石井 陽子 ⑬ 特別支援学校との協働によるケアルームの設置～誰もが楽しみやすい博物館の環境づくり～ 兵庫県立人と自然の博物館 福本 優・橋本 佳延・廣瀬 孝太郎・藤井 俊夫 ⑭ 展示を介した被災体験の共有 ～2024年能登半島地震の例～ 富山市科学博物館 増淵 佳子 ⑮ 地理情報システム (GIS) を用いた生物分布マップ「びわはくGIS」による鳥類分布情報の蓄積と活用 滋賀県立琵琶湖博物館 亀田 佳代子・加藤 秀雄・大槻 達郎 ⑯ ハグロトンボしらべ隊をつづけてみたら～市民参加型調査会から広がる様々な経験と楽しみ～ 高槻市立自然博物館 あくあびあ芥川 秀瀬 みのり ⑰ 自然史博物館にやってくる市民からの質問～質問対応の中で考えていること～ 大阪市立自然史博物館 横川 昌史

- ⑮ 天文科学館が考える学びの3段階と星の会や天ボラ活動
明石市立天文科学館 鈴木 康史・石井 優子・沖中 あゆみ
- ⑯ 博物館に寄せられる質問の自然史情報としての意義
滋賀県立琵琶湖博物館 金尾 滋史
- ⑰ SDGs家族会議：
小学生を含む家族が共に楽しく学び、対話し、未来を考える対話型プログラムの成果と課題
福岡市科学館 西澤 息吹・高山 裕明・上田 恭子
- ⑱ 京都鉄道博物館における多彩な来館者層に向けたアプローチ
京都鉄道博物館 久保 奈緒子
- ⑲ 顕微鏡で身近な未知の世界を感じる「科学の目」を育てる
多摩六都科学館 原 朋子
- ⑳ 参加者自身が学びの機会を選べる普及教育事業を目指して
～高槻市立自然博物館での企画展と関連イベントの事例紹介～
高槻市立自然博物館 あくあびあ芥川 池田 裕介
結creation／高槻市立自然博物館 北村 美香
- ㉑ 生態画と剥製を核とした企画展「動物のくらしとかたち」の評価と実践
神奈川県立生命の星・地球博物館 加藤 ゆき・石浜 佐栄子
大坪 奏・広谷 浩子
- ㉒ スタッフの対話力を上げる「対話ログ」の活用
はまぎん こども宇宙科学館 鈴木 啓子

○ポスター発表 8件

- ① 「自然系ジュニア学芸員講座」の活動を通じたゼネラリストの養成
姫路科学館 宮下 直也・松本 万尋・吉田 航希
- ② 目の不自由な方が博物館を楽しむためには？～体性感覚からのアプローチ～
千葉県立中央博物館 丸山 啓志
- ③ 糸魚川フォッサマグナミュージアムにおける体験型展示物作成～博物館30周年記念特別展を例に～
糸魚川フォッサマグナミュージアム 郡山 鈴夏・小河原 孝彦・茨木 洋介・
香取 拓馬・竹之内 耕
- ④ 肉眼彗星が市民活動に及ぼした影響に関する考察と彗星観望会実施報告
月光天文台 鶴谷 律子
- ⑤ 企業博物館の図書室発信！ 共感・交流する図書室を目指して
トヨタ博物館 小室 利恵
- ⑥ 暮らしに活かす科学の知恵～みなと科学館のリビングサイエンスプログラムをとおして～
港区立みなと科学館 太田 陽子
- ⑦ 非来館者に向けたダウンロード学習教材の提供
日本科学未来館 山野 晋平
- ⑧ 対話を重ね、ともにつくる「インクルーシブプロジェクト」始動
～共生社会における新しい博物館を目指して～
神奈川県立生命の星・地球博物館 大島 光春・佐藤 武宏・田口 公則
乃村工芸社 佐竹 和歌子・松本 麻里・天野 晴香・関口 郁恵・
井部 玲子・宮坂 清佳

巡回展の実施協力	国立科学博物館製作による巡回展「WHO ARE WE 観察と発見の生物学」、「博物館が支える 日本の生物多様性の保全」、産業技術総合研究所地質標本館製作のパネル展「地中熱 あなたの足元に再生可能エネルギー」、「進化する地質図 —GSJ140年目の地質情報—」、「美しい砂の世界—日本の砂、世界の砂、地層の砂—」、「日本初！日本列島大分析元素で見る『地球化学図』」、「祝チバニアン誕生！拡大版—もっと知りたい千葉時代—」、「日本列島ストレスマップ—地震観測とAIで読み解く全国の地殻応力場—」、「時」展覧会2020実行委員会製作のパネル展「『時』展覧会2020」、日本科学技術振興財団の巡回展示「ラ・ビレット展」、「マグネット展」、「スポーツを科学する」、「感覚・体感フィールド」、「科学捜査展」、「究める！マグネット展」、「科学捜査展 #SEASON2」、「マスレチック・ランド」、「光の世界」、「自然現象のメカニズム展」、福島県環境創造センターのコミュニティ福島学習パネルの案内周知を行うなどその開催実施に協力した。
科学系博物館ネットワークシステム事業への協力	国立科学博物館が行っている科学系博物館情報ネットワークシステム事業（S-net）について、事業推進に協力した。
事業に対する後援	加盟館園や関係機関等が実施する事業で、全科協の設置目的に適合し、適当と認められた事業に対し後援を行った。 8件 「博物館の達人」認定 (独立行政法人国立科学博物館) 「青少年のための科学の祭典 2024」各大会 (「青少年のための科学の祭典」各大会実行委員会、公益財団法人日本科学技術振興財団) - 夏休みあいちサイエンスフェスティバル2024 (国立大学法人名古屋大学) - あいちサイエンスフェスティバル2024 (国立大学法人名古屋大学) - 第41回植物画コンクール (独立行政法人国立科学博物館) - デジタルアーカイブフェス2024—活用最前線— (内閣府知的財産戦略推進事務局、国立国会図書館) - 静岡科学館 企画展 カガクの「？」をカタチにする展～疑問を探究するっておもしろい！～ (静岡科学館・く・る) - 令和6年度展示学講座 (日本展示学会)

(3) 広報普及事業

事 項	内 容
機関誌の発行	全科協ニュース編集委員会を開催し、特集テーマ等加盟館園にとって有益な情報を掲載するよう内容の充実を図った。 「全科協ニュース」を年6回編集発行した（A4判16頁（第54巻第4号は20頁）内カラー4頁、850部） 第54巻第3号（R6年 5月） 特集：令和5年度 海外科学系博物館視察研修報告 第54巻第4号（R6年 7月） 特集：第31回研究発表大会より コミュニティとともに活動する博物館 第54巻第5号（R6年 9月） 特集：みんなどうしてる？ わが館の博物館実習 第54巻第6号（R6年11月） 特集：インクルーシブミュージアム 第55巻第1号（R7年 1月） 特集：外部資金活用の取り組み 第55巻第2号（R7年 3月） 特集：ミュージアムキャラクターのすゝめ
入会案内及び広報活動	全科協ホームページの運営方法と内容を随時見直し、facebookを活用するなどして情報及び内容のさらなる充実を図った。 - 全科協ニュース全号の掲載 - 理事会・総会の開催通知や各事業の募集案内の掲載 - 研究発表大会口頭発表要旨の掲載 他の博物館等協議会や関連企業等と情報交換し、リーフレットを配布するなど全科協への加盟の広報に努めた。

資料3

令和6年度 収支決算 (案)

全国科学博物館協議会

(総括表)

(単位:円)

	科 目	6年度予算額 A	6年度決算額 B	差引増▲減額 B-A
収 入	会員会費	4,152,000	4,138,000	▲ 14,000
	雑収入(広告料等)	360,000	371,198	11,198
	助成金	1,300,000	700,000	▲ 600,000
	寄附金	0	0	0
	小計	5,812,000	5,209,198	▲ 602,802
	前期繰越金	8,015,000	8,257,792	242,792
	収 入 合 計	13,827,000	13,466,990	▲ 360,010
支 出	理事会・総会費	711,000	294,891	▲ 416,109
	学芸員専門研修費	559,000	278,438	▲ 280,562
	学芸員オンライン研修費	40,000	0	▲ 40,000
	海外科学系博物館視察研修費	1,104,000	854,410	▲ 249,590
	海外先進施設調査費	1,631,000	933,476	▲ 697,524
	研究発表大会費	2,617,000	1,942,694	▲ 674,306
	巡回展等協力費	0	0	0
	全科協ニュース発行費	1,655,000	1,805,638	150,638
	入会案内及び広報活動費	200,000	150,712	▲ 49,288
	ホームページ運営費	423,000	422,400	▲ 600
	経理管理費	51,000	65,122	14,122
	予備費	1,000,000	0	▲ 1,000,000
	小計	9,991,000	6,747,781	▲ 3,243,219
	次期繰越金	3,836,000	6,719,209	2,883,209
	支 出 合 計	13,827,000	13,466,990	▲ 360,010

令和6年度収支決算 事業積算内訳

(収入の部)

(単位:円)

科　目	6年 度 予 算 額 A	6年 度 決 算 額 B	差　　　引 増▲減額 B-A	備　　　考
会員会費	4,152,000	4,138,000	▲ 14,000	1. 正会員 218館 3,090,000 (10,000円 × 131館= 1,310,000円) (20,000円 × 86館= 1,720,000円) (60,000円 × 1館= 60,000円) 2. 維持会員 50,000円以上 19件 1,000,000 3. 購読会員 4,000円 12件 48,000 計 4,138,000
雑収入	360,000	371,198	11,198	1. 広告料 72,000 円 5社 360,000 1. 預金利息 5,198 2. 令和6年度第2回理事会・総会 第32回研究発表大会 加盟館外参加費 6人 6,000 計 371,198
助成金	1,300,000	700,000	▲ 600,000	(公財)カメイ社会教育振興財団 海外科学系博物館視察研修 250,000 海外先進施設調査助成 450,000
寄附金	0	0	0	
小計	5,812,000	5,209,198	▲ 602,802	
前期繰越金	8,015,000	8,257,792	242,792	
収入合計	13,827,000	13,466,990	▲ 360,010	

(支出の部)

科 目	6年 度 予 算 額 A	6年 度 決 算 額 B	差 引 増▲減額 B-A	備 考
理事会・総会費	711,000	294,891	▲ 416,109	
諸謝金	70,000	57,000	▲ 13,000	
旅費	179,000	24,865	▲ 154,135	施設見学打ち合わせ等 5,435 講演者旅費 1 人 16,390 発表者旅費 2 人 3,040 計 24,865
通信費	58,000	108,680	50,680	第1回理事会・総会開催通知発送 54,340 第1回理事会・総会資料発送 54,340 計 108,680
会議費	184,000	96,042	▲ 87,958	飲料代、理事会お弁当代、情報交換会 96,042
消耗品費	70,000	8,304	▲ 61,696	消耗品(事務用品等) 8,304
雑役務費	150,000	0	▲ 150,000	
学芸員専門研修費	559,000	278,438	▲ 280,562	
旅費	9,000	5,450	▲ 3,550	事務補助者旅費 2 人 5,450
通信費	0	0	0	
会議費	20,000	15,876	▲ 4,124	情報交換会 15,876
消耗品費	30,000	14,200	▲ 15,800	実習素材(サザエ、カニ等) 14,200
印刷費	0	0	0	
研修援助費	500,000	242,912	▲ 257,088	参加者旅費 6 人 242,912
学芸員オンライン研修費	40,000	0	▲ 40,000	
諸謝金	30,000	0	▲ 30,000	
通信費	0	0	0	
会議費	0	0	0	
消耗品費	10,000	0	▲ 10,000	
海外科学系博物館視察 研修費	1,104,000	854,410	▲ 249,590	
旅費	10,000	0	▲ 10,000	
通信費	39,000	54,560	15,560	募集要項発送 54,560
消耗品費	55,000	49,850	▲ 5,150	訪問館への記念品、WiFiレンタル 49,850
研修援助費	1,000,000	750,000	▲ 250,000	全科協からの研修援助費 500,000 (カメイ社会教育振興財団助成) 250,000 【注記】研修援助費には、参加者2名の研修中止に伴い78,125 円の返戻が決定しており、現在未収となっている。この返戻金 は、入金があり次第、入金があった当年度の収入として計上す る。

(支出の部)

科 目	6年 度 予 算 額 A	6年 度 決 算 額 B	差 引 増▲減額 B-A	備 考
海外先進施設調査費	1,631,000	933,476	▲ 697,524	
旅費	800,000	483,476	▲ 316,524	海外先進施設調査旅費 3 人 483,476
通信費	31,000	0	▲ 31,000	
会議費	0	0	0	
研修援助費	800,000	450,000	▲ 350,000	(カメイ社会教育振興財団助成) 3 人 450,000
研究発表大会費	2,617,000	1,942,694	▲ 674,306	
諸謝金	100,000	0	▲ 100,000	
旅費	810,000	737,420	▲ 72,580	事前打合わせ 3 人 131,580 事務局(大会運営) 6 人 443,220 司会旅費 2 人 121,620 報告者旅費 2 人 41,000 計 737,420
通信費	125,000	195,337	70,337	研究発表大会発表募集要項発送 47,740 第2回理事会・総会、研究発表大会開催通知発送 58,020 研究発表大会物品送付 89,577 計 195,337
会議費	92,000	54,607	▲ 37,393	飲料代、情報交換会 54,607
雑役務費	760,000	819,500	59,500	第2回理事会・総会・研究発表大会配信作業 (PIPELINE株式会社) 819,500
借料・損料	150,000	0	▲ 150,000	
消耗品費	80,000	4,030	▲ 75,970	消耗品(事務用品等) 4,030
印刷費	0	0	0	
研修援助費	500,000	131,800	▲ 368,200	発表者旅費助成 4 人 131,800
巡回展等協力費	0	0	0	
通信費	0	0	0	
全科協ニュース発行費	1,655,000	1,805,638	150,638	
諸謝金	210,000	156,000	▲ 54,000	海外博物館事情 6 回 120,000 特集原稿執筆 2 人 36,000 計 156,000
旅費	137,000	178,408	41,408	全科協ニュース編集委員会旅費 5 人 178,408
通信費	222,000	356,380	134,380	全科協ニュース発送 約270機関 6 回 356,380
会議費	15,000	0	▲ 15,000	会議の飲料は総会で購入した余りを使用
印刷費	1,071,000	1,114,850	43,850	全科協ニュース印刷 850 部 6 回 1,114,850

(支出の部)

科 目	6年 度 予 算 額 A	6年 度 決 算 額 B	差 引 増▲減額 B-A	備 考
入会案内及び広報活動費	200,000	150,712	▲ 49,288	
消耗品費	170,000	143,000	▲ 27,000	封筒作成費用 143,000
通信費	30,000	7,712	▲ 22,288	切手・レターパック購入 7,712
ホームページ運営費	423,000	422,400	▲ 600	
雑役務費	423,000	422,400	▲ 600	レンタルサーバー費用 422,400
経理管理費	51,000	65,122	14,122	年会費請求書発送 248 件 20,898 振込手数料 17,325 消耗品(事務用品等) 26,899 計 65,122
予備費	1,000,000	0	▲ 1,000,000	
小 計	9,991,000	6,747,781	▲ 3,243,219	
次期繰越金	3,836,000	6,719,209	2,883,209	
支出合計	13,827,000	13,466,990	▲ 360,010	

令和7年度 事業予定

資料4

全国科学博物館協議会

令和7年度の事業に関しては、下記の通り予定する。

1 管 理 運 営

事 項	内 容
第1回 理事会	期 日 令和7年7月3日(木) 会 場 国立科学博物館 大会議室 及び オンライン
第1回 総 会	期 日 令和7年7月3日(木) 会 場 国立科学博物館 講堂 及び オンライン 施設見学 令和7年7月4日(金) 見学先：千葉市科学館
第2回 理事会	期 日 令和8年2月17日(火) (予定) 会 場 国立科学博物館 筑波地区 及び オンライン
第2回 総 会	期 日 令和8年2月17日(火) (予定) 会 場 国立科学博物館 筑波地区 及び オンライン

2 事 業

(1) 研 修 事 業

事 項	内 容
学芸員専門研修 (7ト・バンス・コース)	博物館の現状を幅広い観点から理解するとともに、博物館等における調査研究、資料の収集・保管、展示、学習支援活動等について、専門的、実践的な研修を行う。 期 間 令和7年11月11日(火)～14日(金) 共 催 者 国立科学博物館 対 象 機械資料を収蔵している博物館等の中堅学芸員等専門職員。 10名程度 内 容 機械資料の活用に関連する研修を実施予定
オンライン学芸員専門 研修	博物館等における調査研究、資料の収集・保管、展示、学習支援活動等について、オンライン形式で研修を行う。 期 間 令和8年1月～3月頃(予定) 共 催 者 国立科学博物館 対 象 博物館等で自然科学系部門を担当する学芸員及び職員等。 50名程度 内 容 未定(植物研究部による研修を実施予定)
海外科学系博物館 視察研修	韓国の科学系博物館等における運営、展示技術、学習支援活動等について理解を深め、博物館の充実、発展に資することを目的として海外視察研修を実施する。 期 間 令和8年1月中旬頃 1週間程度 共 催 者 (一財)全国科学博物館振興財団 対 象 正会員、維持会員、購読会員 15名程度 訪 問 館 韓国の博物館施設(予定) 備 考 財源の一部として(公財)カメイ社会教育振興財団の助成に応募。
海外施設調査	海外の科学系博物館等における取り組みについて調査し、自館の運営に活かすとともに博物館同士の国際交流や共同事業実施への基盤形成へつなげることを目的に実施する。 期 間 令和7年7月～令和7年11月(7日～8日間程度) 対 象 正会員 3名 訪 問 館 フランス、イギリス、アラブ首長国連邦の博物館施設等 備 考 財源の一部として(公財)カメイ社会教育振興財団の助成に応募。

(2) 連携促進事業

事 項	内 容
研究発表大会	科学系博物館に共通する課題や各館の活動成果について発表及び協議し、学芸員等博物館専門職員の活動の一層の充実に資することを目的とし開催する。 期 日 令和8年2月18日（水）（予定） 共 催 者 （一財）全国科学博物館振興財団 会 場 国立科学博物館 筑波地区 及び オンライン（発表者は現地参加のみ）
巡回展の実施協力	加盟館園を対象として、制作展示の巡回展の広報を行う。 【加盟館による募集展示】 巡回展「キモかわすごい！海の骨なしどうぶつの世界」 （製作：国立科学博物館） 巡回展「ノーベル賞を受賞した日本の科学者」 （製作：国立科学博物館） 巡回展「ダーウィンを驚かせた鳥たち」 （製作：国立科学博物館） 巡回展「博物館が支える日本の生物多様性の保全」 （製作：国立科学博物館） パネル展「地中熱 あなたの足元に再生可能エネルギー」 （製作：産業技術総合研究所 地質標本館） パネル展「美しい砂の世界ー日本の砂、世界の砂、地層の砂ー」 （製作：産業技術総合研究所 地質標本館） パネル展「日本初！日本列島大分析 元素で見る『地球化学図』」 （製作：産業技術総合研究所 地質標本館） パネル展「日本列島ストレスマップー地震観測とAIで読み解く 全国の地殻応力場ー」 （製作：産業技術総合研究所 地質標本館） パネル展「プレートテクトニクスがつくる なぞの温泉『深部流体』」 （製作：産業技術総合研究所 地質標本館） パネル展「『時』展覧会2020」 （製作：「時」展覧会2020実行委員会） 巡回展示「ラ・ビレット展」 （製作：（公財）日本科学技術振興財団） 巡回展示「マグネット展」 （製作：（公財）日本科学技術振興財団） 巡回展示「スポーツを科学する」 （製作：（公財）日本科学技術振興財団） 巡回展示「感覚・体感フィールド」 （製作：（公財）日本科学技術振興財団） 巡回展示「科学捜査展」 （製作：（公財）日本科学技術振興財団） 巡回展示「究める！マグネット展」 （製作：（公財）日本科学技術振興財団） 巡回展示「科学捜査展 #SEASON2」 （製作：（公財）日本科学技術振興財団） 巡回展示「マズレチック・ランド」 （製作：（公財）日本科学技術振興財団） 巡回展示「光の世界」 （製作：（公財）日本科学技術振興財団） 巡回展示「自然現象のメカニズム展」 （製作：（公財）日本科学技術振興財団） 巡回展示「消防火災展」 （製作：（公財）日本科学技術振興財団） コミュタン福島学習パネル （製作：福島県環境創造センター） 巡回展「新種はっけん！展」 （製作：福岡市科学館）
科学系博物館ネットワークシステム事業への協力	国立科学博物館が行っている科学系博物館情報ネットワークシステム事業（S-net）について、事業推進、参画館の拡大に協力する。
事業に対する後援	加盟館園や関係機関等が実施する事業で、全科協の設置目的に適合し、適当と認められた事業に対し後援を行う。

(3) 広報普及事業

事 項	内 容
機関誌の発行	全科協ニュース編集委員会を開催し、特集テーマ等加盟館園にとって有益な情報を掲載するよう内容の充実に図る。 全科協ニュース編集委員会：令和7年6月6日（金）開催 ※全科協ニュースの編集発行（A4判16頁内カラー4頁、850部）
入会案内及び広報活動	全科協ホームページ及びfacebookやメーリングリストを活用して加盟館園への情報周知、内容のさらなる充実に図る。 他の博物館等協議会や関連企業等と情報交換し、リーフレットを配布するなど全科協への加盟促進の広報に努める。

全国科学博物館協議会理事会運営規程 新旧対照表（案）

旧	新
全国科学博物館協議会理事会運営規程 平成 2 9 年 2 月 1 6 日 制 定 第 1 条～第 8 条 省略 第 9 条 役員は、やむを得ず理事会に出席できない場合、次の各号の一該当するときに出席したものとみなす。 一 所属する機関のうちから当該役員が書面をもって指名した者が出席したとき 二 委任状を提出して他の構成メンバーに表決を委任したとき 第 1 0 条～第 1 3 条 省略 附 則 省略	全国科学博物館協議会理事会運営規程 平成 2 9 年 2 月 1 6 日 制 定 <u>令和 7 年 7 月 3 日 一部改正</u> 第 1 条～第 8 条 省略（現行どおり） 第 9 条 役員は、やむを得ず理事会に出席できない場合、次の各号の一該当するときに出席したものとみなす。 一 所属する機関のうちから当該役員が指名した者が出席したとき 二 委任状を提出して他の構成メンバーに表決を委任したとき 第 1 0 条～第 1 3 条 省略（現行どおり） 附 則 省略（現行どおり） <u>附 則 本規程は、令和 7 年 7 月 3 日より施行する。</u>

全国科学博物館協議会の理事館について

1. 理事館の職務

- ・理事会への出席（年 2 回開催）
- ・任期は 2 年（再任可能）

2. 理事館に求められる施設規模

- ・年間 2 万円の会費負担を伴うため、ある程度大型の施設であることが求められる。

＜参考＞正会員の年会費は 国都道府県立・政令指定都市立：2 万円
市町村立・私立：1 万円

3. 令和 7 年度理事館 16 館の内訳（理事長館・監事館を除く）

- ・所在地からみた内訳

所在地	館 数
北海道・東北	2
関 東	5
中 部	2
近 畿	3
中国・四国・九州	4

- ・館種による内訳

館 種	館 数
総 合	5
自 然 史	4
科 学 館	4
産業技術史	2
水 族 館	1

IPS 2026 FUKUOKA 基本スケジュール

6月	18(木) プレ1日目	19(金) プレ2日目	20(土) プレ3日目	21(日) プレ4日目	22(月) 1日目	23(火) 2日目	24(水) 3日目	25(木) 4日目	26(金) 5日目	27(土)~ 6日目~
科学館	フルドームフェスティバル		IPS 理事会 連携シンポジウム		スポンサープロモーション セッション & ワークショップ					
国際 センター							スポンサー展示会			
国際 会議場							総会/ 同時開催セッション/ 基調講演			
大濠公園 能楽堂			ウェルカム イベント							
未定									バンケット	ポスト カンファレンス ツアー

6月18日(木)・19日(金)

福岡市科学館ドームシアターを会場としてフルドームフェスティバルを開催。
世界各国の制作者から応募されたコンテンツ上映。ショートムービー、長編ムービーのコンテストを実施予定。

6月20日(土)・21日(日)

福岡市科学館にて IPS 理事会を開催。同時に市民が参加できるシンポジウムやイベントなども実施予定。
21日(日) 夕刻からのウェルカムイベントは、大濠公園能楽堂で日本の伝統文化である能楽鑑賞。食事&懇親会を実施予定。

6月22日(月)・23日(火)

福岡市科学館のドームシアターおよびサイエンスホールで、出展者・スポンサーによる最新の機器や映像のデモンストレーション、
その他展示室や実験室でのセッションやワークショップも実施予定。

6月24日(水)~26日(金) 午前

会場を福岡国際センター、福岡国際会議場に移動。国際センターでは各スポンサーブースで各社の最新技術や映像に触れ、国際
会議場では、最大1,000人収容できるホールや、大小20以上の会議室でのセッションやワークショップを実施。
セッションテーマは以下を検討中。

一般トピック

- ◎フィロソフィ
- ◎技術とハードウェア
- ◎管理・運営・広報
- ◎プラネタリウムと天文教育
- ◎インクルージョン・多様性・公平性・アクセシビリティ
- ◎モバイルプラネタリウム
- ◎プラネタリウムの未来

企画セッション (IPS 2026 FUKUOKA オリジナル)

- ◎プラネタリウムと天文学普及の軌跡
- ◎世界のプラネタリウム愛好家
- ◎世界の星の伝承
- ◎プラネタリウムと宇宙開発ビジネスとの連携
- ◎日本のアニメ文化とプラネタリウム

6月26日(金) 午後

福岡の近隣をめぐるツアーや夕刻からはバンケット(晩餐会)を開催予定。

6月27日(土)~ ポストカンファレンスツアー

(日本)国内のプラネタリウム施設や天文台、観光地を巡る旅を検討中。

内容は変更する場合があります。最新情報はホームページをご参照ください。

<https://www.ips2026fukuoka.com/>



IPS 2026 FUKUOKA 国内組織委員会

〒810-0044 福岡市中央区六本松 4-2-1 福岡市科学館内
TEL: 092-731-2525 / FAX: 092-731-2530
E-mail: ips-fukuoka@fukuokacity-kagakukan.jp

出展スポンサーに関する窓口

Professional Congress Organizer (PCO)
IPS 2026 LOC サポートチーム
E-mail: sponsor_ips2026@officebeone.com

資料 7

プラネタリウムの国際会議が
2026年6月 福岡にやってくる！



FUKUOKA
2026



6月21日(日)~26日(金)

ウェルカムイベント 6月21日(日) 夕刻
カンファレンス 6月22日(月)~26日(金) 午前
バンケット 6月26日(金) 夕刻



IPS 2026 FUKUOKA 大会

2026年6月。国内では30年ぶりに国際プラネタリウム協会（IPS: International Planetarium Society）の大会が開催されます。この大会の HOST を福岡市科学館が担います。

この大会には、世界中のプラネタリウムや天文に関係する・興味を持つ人々が集結します。プラネタリウムの最新業界情報に触れ、世界中のプラネタリアンと意見を交換し、交流を深めるイベントが盛りだくさんです。国内での開催は大変貴重な機会となります。ぜひご参加ください。

大会趣旨 “One Earth, One Sky”

人類の歴史を通じて、私たちは独自の言語と文化を持つ多様な社会を築いてきました。そして今日、持続可能な社会の実現という課題に直面する中で、国際的な協力はこれまで以上に重要となっています。こうした時代において、分野や国境を越えて人々がつながり、知恵や経験を共有する場が求められています。

IPS 2026 FUKUOKA は、“One Earth, One Sky” をテーマに、プラネタリウム誕生100周年を経て開催される最初の大会です。世界中のプラネタリウム関係者が福岡の空の下に集い、次の100年に向けて新たな創造を育むカンファレンスを目指します。

IPS 2026 FUKUOKA HOST
国内組織委員会 組織委員長

福岡市科学館 館長 矢原 徹一



IPS カンファレンスの歴史（過去大会）

第13回 1996年 大阪(日本)	第14回 1998年 ロンドン(イギリス)	第15回 2000年 モントリオール(カナダ)
第16回 2002年 ウィチタ(アメリカ)	第17回 2004年 バレンシア(スペイン)	第18回 2006年 メルボルン(オーストラリア)
第19回 2008年 アドラー(アメリカ)	第20回 2010年 アレクサンドリア(エジプト)	第21回 2012年 バトンルーージュ(アメリカ)
第24回 2014年 北京(中国)	第25回 2016年 ワルシャワ(ポーランド)	第26回 2018年 トゥールーズ(フランス)
第27回 2020年 バーチャルカンファレンス	第28回 2021年 バーチャルカンファレンス	第29回 2024年 イエナ/ベルリン(ドイツ)
第30回 2026年 福岡(日本)		



IPS President **Dr. Shannon Schmoll**
Director, Talbert and Leota Abrams Planetarium, Michigan State University

国際プラネタリウム協会（IPS: International Planetarium Society）

IPS は世界最大のプラネタリウム関係者による団体です。1970年の発足以来、世界中の学校、大学、博物館、天文台、公共施設などのあらゆる施設・規模のプラネタリウムを代表する約500名（世界50カ国）の会員が本会に加入し、2年おきに各国都市でカンファレンスを開催しています。

2023～2025年にかけてのプラネタリウム100周年記念事業も世界各国で開催され、2024年イエナ/ベルリン大会は、プラネタリウム発祥の地で100周年を祝う記念大会となりました。



大会会場と交通機関



福岡市科学館

IPS 2026 FUKUOKA 開催に先立ってプレイベントとして、フルドームフェスティバルをドームシアターで開催します。ショートムービー、長編ムービーの放映を予定しています。また共催イベントも行う予定です。25mドームでの作品鑑賞をお楽しみください。カンファレンス第1日目はここから始まります。スポンサーによるプレゼンテーションをドームシアターとサイエンスホールで開催します。ペーパーセッション、ワークショップ、グループディスカッションを各室で実施します。コンパクトな空間で、発表者との距離も近く、活発なコミュニケーションも生まれることでしょう。

フルドームフェスティバル：2026年6月18日(木)・19日(金)

共催イベント：2026年6月20日(土)・21日(日)

カンファレンス（1日目・2日目）：2026年6月22日(月)・23日(火)

福岡国際センター

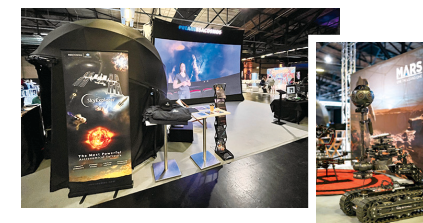
大きな空間にスポンサーの出展ブースを設置します。出展者・スポンサーの最新技術や最新の作品に触れる機会となります。コンテンツ制作者や研究発表用に仮設ドームの設置も計画。昼食会場や商談スペースなども用意し、快適な空間を提供します。

カンファレンス（3日目～5日目）：2026年6月24日(水)・25日(木)・26日(金)

福岡国際会議場

IPS 2026 FUKUOKA での特別企画や日本のプラネタリウムや天文台、そして天文教育関係者との合同セッションを企画しています。ここでは、“One Earth, One Sky” のテーマにそったペーパーセッション、ワークショップ、グループディスカッションも実施します。大ホールでは、IPS 総会のほか、基調講演、閉会式（メモリアル、アワード、写真撮影など）を行います。

カンファレンス（3日目～5日目）：2026年6月24日(水)・25日(木)・26日(金)



全国科学博物館協議会 令和7年度役員館園名簿

	館 園 名	代 表 者 (令和7年7月現在)	
理事長館	国立科学博物館	館 長	篠 田 謙 一
理 事 館	札幌市青少年科学館	館 長	西 川 英 一
	岩手県立博物館	館 長	坂 本 美 知 治 R7.4.2～
	ミュージアムパーク 茨城県自然博物館	館 長	横 山 一 己
	鉄道博物館	館 長	石 田 亨 R7.6.25～
	科学技術館	館 長	野 依 良 治
	郵政博物館	館 長	増 田 英 治 R7.4.1～
	神奈川県立生命の星・地球博物館	館 長	田 中 徳 久
	富山市科学博物館	館 長	笠 間 信 行 R7.4.1～
	名古屋市科学館	館 長	大 路 樹 生
	鳥羽水族館	館 長	若 井 嘉 人
	大阪市立自然史博物館	館 長	川 端 清 司
	兵庫県立人と自然の博物館	館 長	村 上 哲 明
	鳥取県立博物館	館 長	片 山 暢 博 R7.4.1～
	防府市青少年科学館	館 長	松 本 浩
	愛媛県総合科学博物館	館 長	和 田 英 夫 R7.4.1～
	北九州市立自然史・歴史博物館	館 長	真 鍋 徹 R7.4.1～
監 事 館	たばこと塩の博物館	館 長	菊 池 孝 徳
	NHK放送博物館	館 長	山 本 雅 士

参考資料2

全国科学博物館協議会 加盟館園名簿

令和7年7月3日現在

	機関名	〒	所在地	電話
1	札幌市青少年科学館	004-0051	札幌市厚別区厚別中央1条5丁目2-20	011-892-5001
2	苫小牧市科学センター	053-0018	北海道苫小牧市旭町3-1-12	0144-33-9158
3	滝川市美術自然史館	073-0033	北海道滝川市新町2-5-30	0125-23-0502
4	旭川市科学館	078-8391	北海道旭川市宮前1条3-3-3 2	0166-31-3186
5	あすなろ会こども遊学館（釧路市こども遊学館）	085-0017	北海道釧路市幸町10-2	0154-32-0122
6	稚内市青少年科学館	097-0026	北海道稚内市ノシャップ2-2-16	0162-22-5100
7	岩手県立博物館	020-0102	岩手県盛岡市上田字松屋敷34	019-661-2831
8	盛岡市子ども科学館	020-0866	岩手県盛岡市本宮字蛇屋敷13-1	019-634-1171
9	久慈琥珀博物館	028-0071	岩手県久慈市小久慈町19-156-133	0194-59-3821
10	陸前高田市立博物館	029-2205	岩手県陸前高田市高田町字並杉300番地1	0192-54-4224
11	奥州市牛の博物館	029-4205	岩手県奥州市前沢字南陣場103番地1	0197-56-7666
12	H O K U S H U 仙台市科学館	981-0903	宮城県仙台市青葉区台原森林公園4-1	022-276-2201
13	仙台市天文台	989-3123	宮城県仙台市青葉区錦ヶ丘9-29-32	022-391-1300
14	秋田県立博物館	010-0124	秋田県秋田市金足鳩崎字後山52	018-873-4121
15	秋田大学大学院国際資源学研究科附属鉱業博物館	010-8502	秋田県秋田市手形字大沢28-2	018-889-2461
16	フェライト子ども科学館	018-0402	秋田県にかほ市平沢字宝田4-1	0184-32-3150
17	山形県立博物館	990-0826	山形県山形市霞城町1-8	023-645-1111
18	福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ	960-8044	福島県福島市早稲町1-1	024-524-3131
19	ふくしま森の科学体験センター	962-0728	福島県須賀川市虹の台100	0248-89-1120
20	福島県環境創造センター	963-7700	福島県田村郡三春町深作10番2号	0247-61-6129
21	高柳電設工業スペースパーク（郡山市ふれあい科学館）	963-8002	福島県郡山市駅前2-11-1	024-936-0201
22	磐梯山噴火記念館	969-2701	福島県耶麻郡北塩原村桧原字剣ヶ峯1093-36	0241-32-2888
23	いわき市石炭・化石館	972-8321	福島県いわき市常磐湯本町向田3-1	0246-42-3155
24	東日本大震災・原子力災害伝承館	979-1401	福島県双葉郡双葉町中野字高田39	0240-23-4402
25	ツムラ漢方記念館	300-1192	茨城県稲敷郡阿見町吉原3586	029-889-2167
26	つくばエキスポセンター	305-0031	茨城県つくば市吾妻2-9	0298-58-1100
27	産業技術総合研究所 地質標本館	305-8567	茨城県つくば市東1-1-1	029-861-3750
28	ミュージアムパーク茨城県自然博物館	306-0622	茨城県坂東市大崎700	0297-38-2000
29	日立シビックセンター科学館サクリエ	317-0073	茨城県日立市幸町1-21-1	0294-24-7731
30	エジソンミュージアム	111-8081	東京都台東区駒形1-4-8	0282-86-5074
31	栃木県立博物館	320-0865	栃木県宇都宮市睦町2-2	028-634-1311
32	栃木県子ども総合科学館	321-0151	栃木県宇都宮市西川田町567	028-659-5555
33	那須塩原市那須野が原博物館	329-2752	栃木県那須塩原市三島5-1	0287-36-0949
34	木の葉化石園	329-2924	栃木県那須塩原市中塩原472	0287-32-2052
35	高崎市少年科学館	370-0065	群馬県高崎市末広町23-1	027-321-0323
36	群馬県立自然史博物館	370-2345	群馬県富岡市上黒岩1674-1	0274-60-1200
37	群馬県立ぐんま昆虫の森	376-0132	群馬県桐生市新里町鶴ヶ谷460-1	0277-74-6441

	機関名	〒	所在地	電話
38	鉄道博物館	330-0852	埼玉県さいたま市大宮区大成町3-47	048-651-0088
39	川口市立科学館	333-0844	埼玉県川口市上青木3-12-18	048-262-8431
40	戸田市立郷土博物館彩湖自然学習センター	335-0031	埼玉県戸田市大字内谷2887	048-422-9991
41	越谷市立児童館コスモス	343-0042	埼玉県越谷市千間台東2-9	048-978-1515
42	越谷市立児童館ヒマワリ	343-0842	埼玉県越谷市蒲生旭町11-35	048-986-3715
43	越谷市科学技術体験センター	343-0857	埼玉県越谷市新越谷1-59	048-961-7171
44	日本工業大学 工業技術博物館	345-8501	埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1	0480-33-7545
45	所沢航空発祥記念館	359-0042	埼玉県所沢市並木1-13	04-2996-2225
46	埼玉県立川の博物館	369-1217	埼玉県大里郡寄居町大字小園39番地	048-581-7333
47	埼玉県立自然の博物館	369-1305	埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417-1	0494-66-0404
48	千葉県科学館	260-0013	千葉県千葉市中央区中央4-5-1	043-308-0511
49	千葉県立中央博物館	260-8682	千葉県千葉市中央区青葉町955-2	043-265-3111
50	我孫子市鳥の博物館	270-1145	千葉県我孫子市高野山234-3	04-7185-2212
51	千葉県立現代産業科学館	272-0015	千葉県市川市鬼高1-1-3	047-379-2000
52	東金こども科学館	283-0801	千葉県東金市八坂台1-2107-3	0475-55-6211
53	航空科学博物館	289-1608	千葉県山武郡芝山町岩山111-3	0479-78-0557
54	鴨川シーワールド	296-0041	千葉県鴨川市東町1464-18	0470-92-2121
55	科学技術館	102-0091	東京都千代田区北の丸公園2-1	03-3212-8544
56	港区立みなと科学館	105-0001	東京都港区虎ノ門3-6-9	03-6381-5041
57	N H K 放送博物館	105-0002	東京都港区愛宕2-1-1	03-5400-4140
58	船の科学館	105-0021	東京都港区東新橋一丁目8番3号汐留エッジ5階	03-5500-1111
59	T E P I A 先端技術館	107-0061	東京都港区北青山2-8-44	03-5474-6175
60	国立科学博物館	110-8718	東京都台東区上野公園7-20	03-3822-0111
61	葛飾区郷土と天文の博物館	125-0063	東京都葛飾区白鳥3-25-1	03-3838-1101
62	たばこと塩の博物館	130-0003	東京都墨田区横川1-16-3	03-3622-8801
63	東武博物館	131-0032	東京都墨田区東向島4-28-16	03-3614-8811
64	郵政博物館	131-8139	東京都墨田区押上1-1-2東京スカイツリータウン・ソラマチ9F	03-6240-4377
65	地下鉄博物館	134-0084	東京都江戸川区東葛西6-3-1	03-3878-5011
66	東京ガス株式会社 がすてなーに ガスの科学館	135-0061	東京都江東区豊洲6-1-1	03-3534-1111
67	日本科学未来館	135-0064	東京都江東区青海2-3-6	03-3570-9151
68	こども鉱物館	150-0001	東京都渋谷区神宮前2-30-4	03-3405-7800
69	東京科学大学博物館	152-8550	東京都目黒区大岡山2-12-1	03-5734-3340
70	目黒寄生虫館	153-0064	東京都目黒区下目黒4-1-1	03-3716-1264
71	東京消防庁消防防災資料センター消防博物館	160-0004	東京都新宿区四谷3-10	03-3353-9119
72	サンシャイン水族館	170-8630	東京都豊島区東池袋3-1サンシャインシティ	03-3989-3460
73	板橋区立教育科学館	174-0071	東京都板橋区常盤台4-14-1	03-3559-6561
74	府中市郷土の森博物館	183-0026	東京都府中市南町6-32	042-368-7921
75	東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町2-24-16	0423-88-7163
76	多摩六都科学館	188-0014	東京都西東京市芝久保町5-10-64	0424-69-6100
77	川崎市青少年科学館（かわさき宙と緑の科学館）	214-0032	神奈川県川崎市多摩区枳形7-1-2	044-922-4731

	機関名	〒	所在地	電話
78	馬の博物館	231-0015	神奈川県横浜市中区尾上町5-78 オーク関内ビル3F	045-662-8105
79	はまぎんこども宇宙科学館	235-0045	神奈川県横浜市中区磯子区洋光台5-2-1	045-832-1166
80	横須賀市自然・人文博物館	238-0016	神奈川県横須賀市深田台95	046-824-3688
81	観音崎自然博物館	239-0813	神奈川県横須賀市鴨居4-1120	046-841-1533
82	ロマンスカーミュージアム	243-0438	神奈川県海老名市めぐみ町1-3	046-233-0909
83	神奈川県立生命の星・地球博物館	250-0031	神奈川県小田原市入生田499	0465-21-1515
84	新江ノ島水族館	251-0035	神奈川県藤沢市片瀬海岸2-19-1	0466-29-9960
85	平塚市博物館	254-0041	神奈川県平塚市浅間町12-41	0463-33-5111
86	糸魚川フォッサマグナミュージアム	941-0056	新潟県糸魚川市一ノ宮1313番地	0255-53-1880
87	上越科学館	942-0063	新潟県上越市下門前446-2	025-544-2122
88	新潟県立自然科学館	950-0948	新潟県新潟市中央区女池南3-1-1	025-283-3331
89	富山県 立山カルデラ砂防博物館	930-1405	富山県中新川郡立山町芦峯寺字ブナ坂68	076-481-1160
90	富山県 立山博物館	930-1406	富山県中新川郡立山町芦峯寺93-1	076-481-1216
91	黒部市吉田科学館	938-0005	富山県黒部市吉田574-1	0765-57-0610
92	富山市科学博物館	939-8084	富山県富山市西中野町1-8-31	076-491-2123
93	のとじま水族館	926-0216	石川県七尾市能登島曲町15部40	0767-84-1271
94	セーレンプラネット 福井市自然史博物館分館	910-0006	福井県福井市中央1丁目2-1 ハピリン5階	0776-43-1622
95	福井県立恐竜博物館	911-8601	福井県勝山市村岡町寺尾51-11	0779-88-0001
96	福井県自然保護センター	912-0131	福井県大野市南六呂師169-11-2	0779-67-1655
97	原子力の科学館 あっとほうむ	914-0024	福井県敦賀市吉河37-1	0770-23-1710
98	福井市自然史博物館	918-8006	福井県福井市足羽上町147	0776-35-2844
99	福井県児童科学館	919-0475	福井県坂井市春江町東太郎丸3-1	0776-51-8000
100	山梨県立科学館	400-0023	山梨県甲府市愛宕町358-1	055-254-8151
101	長野市立博物館分館 信州新町化石博物館	381-2404	長野県長野市信州新町上条87-1	026-262-3500
102	sakumo 佐久市子ども未来館	385-0022	長野県佐久市大字岩村田1931-1	0267-67-2001
103	飯田市美術博物館	395-0034	長野県飯田市追手町2-655-7	0265-22-8118
104	大町エネルギー博物館	398-0001	長野県大町市大字平2112-38	0261-22-7770
105	阿南町化石館	399-1505	長野県下伊那郡阿南町富草3905	0260-22-2273
106	大鹿村中央構造線博物館	399-3502	長野県下伊那郡大鹿村大河原988	0265-39-2205
107	岐阜市科学館	500-8389	岐阜県岐阜市本荘3456-41	058-272-1333
108	岐阜県博物館	501-3941	岐阜県関市小屋名字小洞1989	0575-28-3111
109	公益財団法人岐阜天文台	501-6122	岐阜県岐阜市柳津町高桑西3-75	058-241-0055
110	内藤記念くすり博物館	501-6195	岐阜県各務原市川島町竹早町1	0586-89-2101
111	岐阜かかみがはら航空宇宙博物館	504-0924	岐阜県各務原市下切町5-1	058-386-8500
112	ひだ宇宙科学館 カミオカラボ	506-1124	岐阜県飛騨市神岡町夕陽ヶ丘6番地道の駅 スカイ ドーム神岡	0578-86-9222
113	中津川市鉱物博物館	508-0101	岐阜県中津川市苗木639-15	0573-67-2110
114	瑞浪鉱物展示館	509-6121	岐阜県瑞浪市寺河戸町1205	0572-67-2140
115	サイエンスワールド（岐阜県先端科学技術体験センター）	509-6133	岐阜県瑞浪市明世町戸狩54	0572-66-1151
116	奇石博物館	418-0111	静岡県富士宮市山宮3670	0544-58-3830
117	(公財)国際文化交友会月光天文台	419-0101	静岡県田方郡函南町桑原1308-222	0559-79-1428

	機関名	〒	所在地	電話
118	富士川楽座	421-3305	静岡県富士市岩淵1488-1	0545-81-5555
119	ふじのくに地球環境史ミュージアム	422-8017	静岡県静岡市駿河区大谷5762	054-260-7111
120	静岡科学館 る・く・る	422-8067	静岡県静岡市駿河区南町14-25エスパティオ8～10階	054-284-6960
121	ディスカバリーパーク焼津天文学館	425-0052	静岡県焼津市田尻2968-1	054-625-0800
122	浜松科学館	430-0923	静岡県浜松市中央区北寺島町256-3	053-454-0178
123	鳳来寺山自然科学博物館	441-1944	愛知県新城市門谷字森脇6	0536-35-1001
124	豊橋市自然史博物館	441-3147	愛知県豊橋市大岩町字大穴1-238	0532-41-4747
125	蒲郡市生命の海科学館	443-0034	愛知県蒲郡市港町17-17	0533-66-1717
126	碧南海浜水族館	447-0853	愛知県碧南市浜町2-3	0566-48-3761
127	トヨタ産業技術記念館	451-0051	愛知県名古屋市中区則武新町4-1-35	052-551-6115
128	名古屋市科学館	460-0008	愛知県名古屋市中区栄2-17-1	052-201-4486
129	愛知学院大学歯学部歯科資料展示室	464-8650	愛知県名古屋市中区千種区楠元町1-100	052-751-2561
130	南知多ビーチランド	470-3233	愛知県知多郡美浜町奥田428-1	0569-87-2000
131	トヨタ博物館	480-1118	愛知県長久手市横道41-100	0561-63-5151
132	博物館明治村	484-0000	愛知県犬山市内山1	0568-67-0314
133	三重県総合博物館	514-0061	三重県津市一身上津部田3060	059-228-2283
134	神宮徴古館農業館	516-0016	三重県伊勢市神田久志本町1754-1	0596-22-1700
135	真珠博物館	517-8511	三重県鳥羽市鳥羽1-7-1	0599-25-2028
136	鳥羽水族館	517-8517	三重県鳥羽市鳥羽3-3-6	0599-25-2555
137	多賀町立博物館	522-0314	滋賀県犬上郡多賀町大字四手976-2	0749-48-2077
138	滋賀県立琵琶湖博物館	525-0001	滋賀県草津市下物町1091	077-568-4811
139	東近江市森の文化博物館整備室	527-8527	滋賀県東近江市八日市緑町10番5号	0748-24-5567
140	みなくち子どもの森	528-0051	滋賀県甲賀市水口町北内貴10	0748-63-6712
141	滋賀サファリ博物館	529-1802	滋賀県甲賀市信楽町黄瀬2854-2	0748-83-0121
142	京都鉄道博物館	600-8835	京都府京都市下京区観喜寺町	075-323-7592
143	鞍馬山博物館（鞍馬山霊宝殿）	601-1111	京都府京都市左京区鞍馬本町1074	075-741-2368
144	京都コンピュータ学院KCG資料館	601-8407	京都府京都市南区西九条寺ノ前町10-5	075-762-2030
145	島津製作所 創業記念資料館	604-0921	京都府京都市中京区木屋町二条南	075-255-0980
146	京都市青少年科学センター	612-0031	京都府京都市伏見区深草池ノ内町13	075-642-1601
147	大阪市立科学館	530-0005	大阪府大阪市北区中之島4-2-1	06-6444-5656
148	キッズプラザ大阪	530-0025	大阪府大阪市北区扇町2-1-7	06-6311-6601
149	大阪市立自然史博物館	546-0034	大阪府大阪市東住吉区長居公園1-23	06-6697-6221
150	高槻市立自然博物館（あくあびあ芥川）	569-1042	大阪府高槻市南平台5-59-1	072-692-5041
151	きしわだ自然資料館	596-0072	大阪府岸和田市堺町6-5	072-423-8100
152	貝塚市立自然遊学館	597-0091	大阪府貝塚市二色3-26-1	072-431-8457
153	神戸市立青少年科学館	650-0046	兵庫県神戸市中央区港島中町7-7-6	078-302-5177
154	阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター	651-0073	兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2	078-262-5066
155	伊丹市昆虫館	664-0015	兵庫県伊丹市昆陽池3-1 昆陽池公園内	072-785-3582
156	玄武洞ミュージアム	668-0801	兵庫県豊岡市赤石1362	0796-23-3821
157	兵庫県立人と自然の博物館	669-1546	兵庫県三田市弥生が丘6	079-559-2001
158	姫路科学館	671-2222	兵庫県姫路市青山1470-15	0792-67-3001

	機関名	〒	所在地	電話
159	明石市立天文科学館	673-0877	兵庫県明石市人丸町2-6	078-919-5000
160	兵庫県立大学天文科学センター	679-5313	兵庫県佐用郡佐用町西河内407-2	0790-82-3886
161	橿原市昆虫館	634-0024	奈良県橿原市南山町624	0744-24-7246
162	白浜エネルギーランド	649-2211	和歌山県西牟婁郡白浜町3083	0739-43-2666
163	太地町立くじらの博物館	649-5171	和歌山県東牟婁郡太地町大字太地2934-2	0735-59-2400
164	鳥取県立博物館	680-0011	鳥取県鳥取市東町2-124	0857-26-8042
165	さじアストロパーク・佐治天文台	689-1312	鳥取県鳥取市佐治町高山1071-1	0858-89-1011
166	出雲科学館	693-0001	島根県出雲市今市町1900-2	0853-25-1500
167	島根県立三瓶自然館	694-0003	島根県大田市三瓶町多根1121-8	0854-86-0500
168	日原文天台	699-5207	島根県鹿足郡津和野町枕瀬806-1	0856-74-1646
169	人と科学の未来館サイピア（岡山県生涯学習センター）	700-0016	岡山県岡山市北区伊島町3-1-1	086-251-9752
170	日本化石資料館	703-8267	岡山県岡山市中区山崎148-22	086-237-8100
171	津山科学教育博物館（つやま自然のふしぎ館）	708-0022	岡山県津山市山下98-1	0868-22-3518
172	倉敷市立自然史博物館	710-0046	岡山県倉敷市中央2-6-1	086-425-6037
173	倉敷昆虫館	710-0051	岡山県倉敷市幸町2-30（重井病院1F）	086-422-8207
174	倉敷科学センター	712-8046	岡山県倉敷市福田町古新田940	086-454-0300
175	笠岡市立カブトガニ博物館	714-0043	岡山県笠岡市横島1946-2	0865-67-2477
176	岡山天文博物館	719-0232	岡山県浅口市鴨方町本庄3037-5	0865-44-2465
177	福山自動車時計博物館	720-0073	広島県福山市北吉津町3-1-22	084-922-8188
178	5-Days こども文化科学館	730-0011	広島県広島市中区基町5-83	082-222-5346
179	広島市健康づくりセンター健康科学館	730-0052	広島県広島市中区千田町3-8-6	082-246-9100
180	広島市江波山気象館	730-0835	広島県広島市中区江波南1-40-1	082-231-0177
181	ヌマジ交通ミュージアム（広島市交通科学館）	731-0143	広島県広島市安佐南区長楽寺2-12-2	082-878-6211
182	大和ミュージアム 呉市海事歴史科学館	737-0029	広島県呉市宝町5-20	0823-25-3017
183	岩国市科学センター	740-0018	山口県岩国市麻里布町6-14-25	0827-22-0122
184	防府市青少年科学館	747-0809	山口県防府市寿町6-41	0835-26-5050
185	山口県立山口博物館	753-0073	山口県山口市春日町8-2	083-922-0294
186	美祢市立秋吉台科学博物館	754-0511	山口県美祢市秋芳町秋吉1237-938	0837-62-0640
187	美祢市歴史民俗資料館	759-2292	山口県美祢市大嶺町東分279-1	0837-53-0189
188	徳島県立博物館	770-8070	徳島県徳島市八万町向寺山文化の森総合公園	088-668-3636
189	徳島県立あすたむらんど子ども科学館	779-0111	徳島県板野郡板野町那東字キビガ谷45-22	088-672-7111
190	情報通信交流館 e-とぴあ・かがわ	760-0019	香川県高松市サンポート2-1高松シンボルタワー タワー棟4・5階	087-822-0111
191	香川県立五色台少年自然センター	761-8002	香川県高松市生島町423番地	087-881-4428
192	面河山岳博物館	791-1710	愛媛県上浮穴郡久万高原町若山650番地1	0892-58-2130
193	愛媛県総合科学博物館	792-0060	愛媛県新居浜市大生院2133-2	0897-40-4100
194	高知みらい科学館	780-0842	高知県高知市追手筋2-1-1オーテピア5F	088-823-7767
195	越知町立横倉山自然の森博物館	781-1303	高知県高岡郡越知町越知丙737-12	0889-26-1060
196	龍河洞博物館	782-0005	高知県香美市土佐山田町逆川1424	0887-53-4376
197	佐川地質館	789-1201	高知県高岡郡佐川町甲360	0889-22-5500
198	北九州市科学館（スペースLABO）	805-0071	福岡県北九州市八幡東区東田4-1-1	093-671-4566
199	北九州市立自然史・歴史博物館	805-0071	福岡県北九州市八幡東区東田2-4-1	093-681-1011

	機関名	〒	所在地	電話
200	福岡市科学館	810-0044	福岡県福岡市中央区六本松4-2-1	092-731-2525
201	福岡県青少年科学館	830-0003	福岡県久留米市東櫛原町1713（中央公園内）	0942-37-5566
202	佐賀県立宇宙科学館	843-0021	佐賀県武雄市武雄町大字永島16351	0954-20-1666
203	熊本博物館	860-0007	熊本県熊本市中央区古京町3-2	096-324-3500
204	御船町恐竜博物館	861-3207	熊本県上益城郡御船町御船995-6	096-282-4051
205	天草市立御所浦恐竜の島博物館	866-0313	熊本県天草市御所浦町御所浦4310-5御所浦島開発センター内	0969-67-2325
206	熊本県博物館ネットワークセンター	869-0524	熊本県宇城市松橋町豊福1695	0964-34-3301
207	南阿蘇ルナ天文台	869-1502	熊本県阿蘇郡南阿蘇村白川1810	0967-62-3006
208	阿蘇火山博物館	869-2232	熊本県阿蘇市赤水1930-1	0967-34-2111
209	宮崎県総合博物館	880-0053	宮崎県宮崎市神宮2-4-4	0985-24-2071
210	宮崎科学技術館	880-0879	宮崎県宮崎市宮崎駅東1-2-2	0985-23-2700
211	宮崎大学農学部附属農業博物館	889-2155	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1	0985-58-2898
212	鹿児島市立科学館	890-0063	鹿児島県鹿児島市鴨池2-31-18	099-250-8511
213	屋久杉自然館	891-4311	鹿児島県熊毛郡屋久島町安房2739-343	0997-46-3113
214	出水市ツル博物館クレインパークいずみ	899-0208	鹿児島県出水市文化町1000	0996-63-8915
215	沖縄県立博物館・美術館	900-0006	沖縄県那覇市おもろまち3-1-1	098-851-5401
216	琉球大学博物館（風樹館）	903-0129	沖縄県中頭郡西原町字千原1	098-895-8841

維持会員

	機関名	〒	所在地	電話
1	一般財団法人 日本宇宙フォーラム	1010062	東京都千代田区神田駿河台3-2-1	03-6206-4902
2	(株) トータルメディア開発研究所	1020094	東京都千代田区紀尾井町3-23	03-3221-5558
3	AGC保険マネジメント(株)	1040041	東京都中央区新富2-15-5	03-6222-5011
4	パナソニック コネクト株式会社	1040061	東京都中央区銀座8-21-1汐留浜離宮ビル	080-1232-8136
5	(株)さらい	1050011	東京都港区芝公園3-1-13	03-5777-5206
6	株式会社ロココ	1050014	東京都港区芝2-5-6芝256スクエアビル3F	03-3769-0655
7	(株) バレオサイエンス	1070052	東京都港区赤坂3-11-14	03-5575-3651
8	(株) 丹青研究所	1080075	東京都港区港南1-6-41芝浦クリスタル品川10F	03-6455-8280
9	(株) 丹青社	108-8220	東京都港区港南1-2-70品川シーズンテラス19F	03-6455-8100
10	カロラータ (株)	1120002	東京都文京区小石川5-37-6 M-O-N-E ビル	03-5842-4622
11	(株) ムラヤマ	1350061	東京都江東区豊洲3-2-24 豊洲フォレシア	03-6221-0808
12	(株) 乃村工藝社	1358622	東京都港区台場2-3-4	03-5962-1171
13	(株) 学研ホールディングス	1418510	東京都品川区西五反田2-11-8	03-6431-1400
14	(株) 東京サイエンス	1510051	東京都渋谷区千駄ヶ谷5-8-2	03-3350-6725
15	(株) ゼネラルサイエンスコーポレーション	1700005	東京都豊島区南大塚3-11-8	03-5927-8356
16	コニカミノルタプラネタリウム (株)	1708630	東京都豊島区東池袋3-1-3	03-5985-1700
17	(株) 五藤光学研究所	1830025	東京都府中市矢崎町4-16	042-362-5311
18	(株) ココロ	2050023	東京都羽村市神明台4-9-1	042-530-3911
19	(株) JVCケンウッド	2210022	神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12	045-444-5401
20	(株) 西尾製作所	6078168	京都府京都市山科区柳辻池尻町48	075-594-0181

購読会員

	会員名
1	奥田 信久
2	カメイ美術館
3	(株) オカムラ パブリック営業部
4	公益財団法人 日本科学協会
5	株式会社ノムラメディアス
6	齊藤 恵理
7	石川光学造形研究所
8	(株) 久光文化施設研究所
9	日本大学文理学部 図書館
10	有賀 暢迪
11	眞中 恭子
12	(株) 西日本ミュージアムサービス

全国科学博物館協議会会則

昭和46年4月6日	制 定
昭和56年7月1日	一部改正
平成22年2月25日	一部改正
平成28年3月31日	一部改正
平成29年2月16日	一部改正
令和3年6月2日	一部改正

第1条 本会は、全国科学博物館協議会と称する。

第2条 本会は、事務局を理事長館におく。

第3条 本会は、全国の自然史及び理工系博物館並びにこれらを包含する総合博物館(科学博物館の機能をもつ科学教育施設等を含む。以下同じ。)が相互の連絡協調を密にして博物館事業の振興に寄与することを目的とする。

第4条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- 一 調査、研究及び情報の交換
- 二 資料、文献等の交換及び貸借の斡旋
- 三 研究会、講演会等の開催
- 四 自然史及び理工系博物館に関する普及広報
- 五 機関紙の発行及び研究成果の発表
- 六 その他の博物館事業振興に必要な事業

第5条 会員は正会員、維持会員及び購読会員とする。また、名誉会員を置くことができる。

- 2 正会員は、自然史及び理工系博物館並びにこれらを包含する総合博物館とする。
- 3 正会員は、別に定める会費又はこれに相当する実費を負担するものとする。
- 4 維持会員は、本会の趣旨に賛同し、別に定める維持会費を負担するものとする。
- 5 購読会員は、本会の趣旨に賛同し、別に定める購読会費を負担するものとする。
- 6 名誉会員は、長きにわたり本会の運営に従事し、本会の存続と発展に多大な貢献したと理事会によって認められた者とし、会費は負担しないものとする。

第6条 本会に理事館および監事館を置く。また、顧問を置くことができる。

- 2 理事館、監事館は、総会において正会員の中から選出する。
- 3 理事館、監事館の代表者をそれぞれ理事、監事とする。

- 4 理事長館は、理事会において、理事館の中から選出する。理事長館の代表者を理事長とし、理事長は、本会を代表する。理事長に事故があったときは、あらかじめ理事長が指名した理事が、本会を代表する。
- 5 顧問は、理事会において、名誉会員の中から選出する。
- 6 理事長、理事及び監事、顧問の任期は、2年とし、再任を妨げない。
- 7 理事及び監事は、任期終了後も後任者が就任するまでは、なおその職務を行うものとする。

第7条 本会の運営は、理事会がこれに当たる。

- 2 本会の常務は、理事会が選出した常務理事がこれに当たる。
- 3 本会の会計監査は、監事がこれに当たる。
- 4 理事会の運営については別途定める。

第8条 本会は、毎年2回総会を開く。

- 2 理事長が必要と認めたとき、臨時に総会を開くことができる。
- 3 総会は、本会の予算、事業計画及び決算、事業報告その他重要事項を決議し、又は承認する。
- 4 購読会員は総会で意見を述べるができるが、議決権はないものとする。
- 5 総会の運営については別途定める。

第9条 本会には、自然史部会及び理工学部会その他必要とする部会をおくことができる。

- 2 部会長は、理事の中から適任者を理事会で決める。
- 3 部会の運営について必要な事項は、それぞれの部会が定める。

第10条 本会の経費は、別に定める会費又はこれに相当する実費、寄附金、その他の収入をもって当てる。

第11条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第12条 本会は、特定の事業を行うに当たり一般の収入支出と区分して経理する必要がある場合に、総会の承認を得て特別会計を設けることができる。

第13条 本会則の変更は、理事会の議を経て総会の承認を得なければならない。

附 則

本会則は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則

本会則は、昭和56年7月2日から施行する。

附 則

本会則は、平成２２年２月２６日から施行する。

附 則

本会則は、平成２８年４月１日から施行する。

附 則

本会則は、平成２９年２月１７日から施行する。

附 則

本会則は、令和３年６月２日から施行する。

全国科学博物館協議会会費規程

昭和46年 4月 1日 制 定

平成 6年 3月 2日 一部改正

平成28年2月29日 一部改正

会則第5条第3項、第4項、第10条の規定により、会費又はこれに相当する実費、購読会費及び維持会費を次のように定める。

1 理事長館	60,000円
2 理事館（監事館を含む。）、国立及び都道府県立、指定都市立の博物館 又は教育施設等	20,000円以上
3 その他の博物館又は教育施設等	10,000円
4 購読会員	4,000円
5 維持会員	50,000円以上
6 名誉会員	会費は徴収しない

附 則

この規程は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、昭和56年7月2日から施行し、昭和57年4月1日から実施する。

附 則

この規程は、平成6年3月3日から施行し、平成6年4月1日から実施する。

附 則

この規程は、平成28年3月31日から施行し、平成28年4月1日から実施する。

全国科学博物館協議会理事会運営規程

平成29年2月16日 制 定

第1条 この規程は、全国科学博物館協議会会則（以下、「会則」という。）第7条第4項の規定に基づき、理事会を開催する際に必要な手順や、円滑な運営の要領を定めることを目的とする。

第2条 理事会とは、全国科学博物館協議会（以下、「本会」という。）が行う通常理事会及び臨時理事会をいう。

第3条 理事会は、理事長、理事及び監事（以下、「役員」という。）をもって構成する。

2 理事会には、顧問を出席させることができる。

3 理事会には、必要に応じ、役員以外の者の出席を求め、その意見又は説明を求めることができる。

第4条 理事会は、会則に定めるもののほか、本会の運営に関する重要な事項を決議し、又は承認する。

第5条 通常理事会は、年2回開催する。

2 臨時理事会は、次の各号の一に該当するときに開催する。

一 理事長が必要と認め招集の請求をしたとき

二 理事長を除く役員のうち5分の1以上から理事会の目的を記載した書面により請求をしたとき

3 臨時理事会は、インターネット等の通信回線を使用しての審議、決議をもって代えることができる。

4 前項の運用については別途定める。

第6条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、会則第6条4項に定める者が理事会を招集する。

3 理事会を招集する者は、前条第2項第2号の規程による請求があったときは、その請求があった日から90日以内に理事会の招集を通知しなければならない。

第7条 理事会を招集するときは、理事会の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも開催日の10日前までに役員に通知しなければならない。

2 前項の書面による通知に代えて、インターネット等の通信回線を使用した方法により通知することができる。

第8条 理事会は、議決権を有する役員と委任状提出者の合計が、議決権を有する役員総数の過半数により成立する。

第9条 役員は、やむを得ず理事会に出席できない場合、次の各号の一該当するときに出席したものとみなす。

- 一 所属する機関のうちから当該役員が書面をもって指名した者が出席したとき
- 二 委任状を提出して他の構成メンバーに表決を委任したとき

第10条 委任状は、役員の記名によるものとする。

2 委任状は、受任者の名前の記載なき場合及び期限までに提出がない場合は、理事長に委任したものとみなす。

第11条 事務局は、理事会の出席者の確認を行い、委任状の数をもとにした成立要件について理事長に報告しなければならない。

第12条 理事会の議事進行は、理事長が行う。

第13条 理事会の議事は、議決権を有する会員の過半数の承認をもって決し、可否同数のときは、理事長の決するところによる。

附 則

本規程は、平成29年4月1日より施行する。

全国科学博物館協議会総会運営規程

平成29年2月16日 制 定

令和7年2月12日 一部改正

第1条 この規程は、全国科学博物館協議会会則第8条第5項の規定に基づき、総会を開催する際に必要な手順や、円滑な運営の要領を定めることを目的とする。

第2条 総会とは、全国科学博物館協議会（以下、「本会」という。）が行う通常総会及び臨時総会をいう。

第3条 総会は、正会員、維持会員及び名誉会員を構成員とする。購読会員も出席し意見を述べるができるが、議決権は有しない。

第4条 総会は、会則に定めるもののほか、本会の運営に関する重要な事項を決議し、又は承認する。

第5条 通常総会は、年2回開催する。

2 臨時総会は、次の各号の一に該当するときに開催する。

一 理事会が必要と認め招集の請求をしたとき

二 正会員の3分の1以上から会議の目的を記載した書面により招集の請求をしたとき

第6条 総会は、理事長が招集する。

2 理事長は、前条第2項の規定による請求があったときは、90日以内に臨時総会を招集しなければならない。

第7条 総会を招集するときは、総会の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも開催日の10日前までに会員に通知しなければならない。

2 前項の書面による通知に代えて、インターネット等の通信回線を使用した方法により通知することができる。

第8条 総会は、議決権を有する会員と委任状提出者の合計が、議決権を有する会員総数の過半数により成立する。

第9条 総会の構成員は、やむを得ず総会に出席できない場合、委任状を提出して他の構成員に表決を委任することができる。

2 委任状を提出した者は、総会に出席したものとみなす。ただし、受任者の名前の記載なき場合及び期限までに委任状の提出がない場合は、理事長に委任したものとみなす。

3 委任状は、各会員の代表者の記名によるものとし、定められた期日までに事務局に提出されたものを有効とする。

第10条 事務局は、総会の出席者の確認を会員種別ごとに行い、委任状の数をもとに成立要件について理事長に報告しなければならない。

第11条 総会の議事進行は、理事長が行う。

2 理事長は、速やかな議事進行に務める。また、理事長は、議事進行を著しく乱す者に対してその言動を制止させ、あるいは総会会場から退席させることができる。

第12条 総会での発言は、理事長の許可を必要とする。

第13条 総会の議事は、議決権を有する会員の過半数の承認をもって決し、可否同数のときは、理事長の決するところによる。

2 以下の議案の場合は、正会員総数の4分の3以上の賛同を必要とする。

- 一 役員の罷免
- 二 会員の除名
- 三 本会の解散

附 則

本規程は、平成29年4月1日より施行する。

附 則

本規程は、令和7年4月1日より施行する。

令和7年度第1回全国科学博物館協議会総会 施設見学のご案内

日 程 令和7年7月4日（金）

見学場所 千葉市科学館
（千葉県千葉市中央区中央4丁目5番1号
複合施設「Qiball（きぼーる）」内7階から10階）
最寄駅：JR 総武線千葉駅東口より徒歩15分
京成千葉中央駅より徒歩6分
千葉都市モノレール葭川公園駅より徒歩5分

概要説明会場 同館7階 企画展示室
7階エントランスに全科協の受付がございます。

時 間

10：30 ～ 10：50 集合・受付（7階エントランス）

10：50 ～ 11：40 概要説明・施設見学

11：40 ～ 11：50 プラネタリウムデモ投影

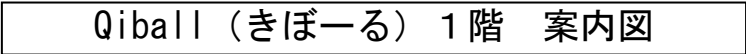
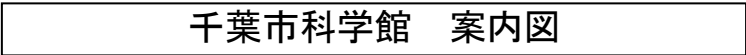
11：50 施設内自由見学・解散 ※解散後も自由に見学いただけます。

※ 受付時間厳守。受付時間以外は受付を設けておりませんので、入館料をご負担のうえご入館ください。

※ クロークは設けておりません。大きなお荷物は出来るだけ駅のロッカーなどでお預けのうえ、ご来場ください。

※ 施設自由見学以降にプラネタリウムを鑑賞する場合は、費用を各自でご負担ください。

裏面もございます→



全国科学博物館協議会 事務局からのお知らせ

1. メーリングリストの運用について

全国科学博物館協議会では、現在メーリングリストを運用しています。加盟館同士の情報交換や、アンケート調査など気軽にご利用ください。随時参加者募集中です。皆様の積極的なご参加、ご活用をお待ちしています。メーリングリストへの参加方法を含む、運用方針につきましては、別紙をご覧ください。

2. 各種広報のご協力について

○国立科学博物館地球館 1 階のデジタル掲示板

国立科学博物館地球館1階オープンスペースに設置されたデジタル掲示板にて、加盟館園の情報を発信しています。(PDF、パワーポイントによる画像の上映)

デジタル掲示板は、休憩スペースに面しており、休憩時や往来の際など、お客様の目に触れることも多い場所に設置しています※。ぜひ積極的な情報発信にご活用ください。ご利用の際は全科協事務局 (info@jcs.jp) までメールにてお申し込みください。

※オープンスペースで展示を行うなどで、掲示板を移動しない期間もございます。ご了承ください。



○加盟館園所有の巡回展事業

毎年5月頃、各加盟館園所有の巡回展等の情報を発信しています。他館への貸出可能な展示等をお持ちの館がありましたら全科協事務局 (info@jcs.jp) までお知らせください。

3. HPの活用について

○総会資料のダウンロード

平成27年度以降の総会資料はHP上からダウンロードが可能です。

○投稿(会員情報の変更・特別展・リニューアル情報)

HP上から各種投稿を行うことができます。

● 会員情報の変更

館名や代表者、担当者、連絡先等の変更については、年度始めに事務局よりご連絡するフォームで報告いただいておりますが、それ以外の時期はHP上で受け付けています。(正会員、維持会員のみ)

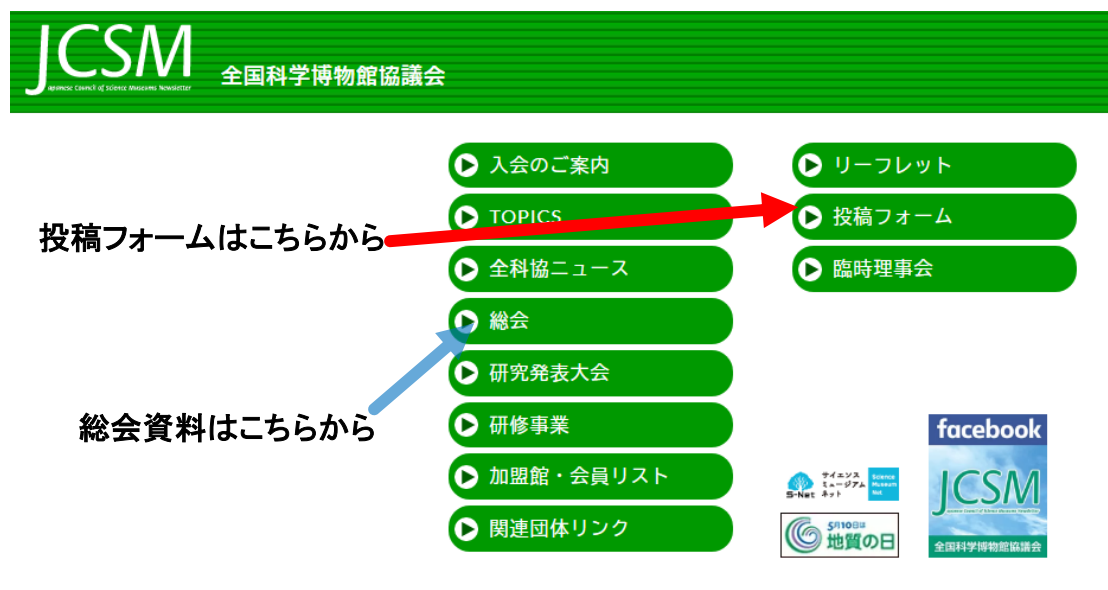
● 特別展・リニューアル情報の投稿

全科協ニュースに掲載する特別展、リニューアル情報をHPから投稿いただけます。編集作業効率化の為、できるだけHPから情報提供いただくようご協力お願いいたします。

裏面もございます➡

全科協ホームページ <https://jcsmj.jp/>

※2022 年 10 月 3 日より、ホームページリニューアルしました。URL も変更されました。



★会員限定ページには下記のユーザー名とパスワードの入力が必要です。

投稿フォーム

ユーザー名 :jcsm1967

パスワード:zenka-toukou9863

總會資料

ユーザー名 :jcsm1967

パスワード:zenka-soukai9863

全科協メーリングリスト hiroba(a)jcs.jp ((a)は@に変換) の運用方針

○基本的考え方

全国科学博物館協議会加盟館園の皆様が日常的に各館園の業務上の情報交換を行うことが可能な場所として活用いただくことを目的とします。

○メーリングリストへ登録される方

当面は全科協加盟正会員及び維持会員に所属の方であれば、どなたでも登録可能です。事前審査等はありませんが、全科協正会員又は維持会員に所属していないことが明らかとなった場合は登録削除させていただく場合があります。

また、メーリングリスト内から複数の登録削除の申し出等があった場合は事務局の判断により削除させていただくことがあります。

○メーリングリストを利用して投稿・発信が望まれる例

(1) 次のような場合は、メーリングリストを利用した情報交換が望めます。

- ・ 海外先進施設調査訪問先の調査国事情の現状に関する情報提供や海外先進施設調査参加希望者に対する情報提供など海外事情に関する情報交換（メーリングリスト内で特定のメールアドレスのやりとりなど個人情報の提供はしないでください）
- ・ 全科協の活用方法に関するアイディア提供など全科協活性化のための方策に関する意見交換
- ・ 地域で行われる研究会や研修など他館園への情報提供（特別展情報など広報・告知のみの場合は全科協ニュースへの投稿とし、本メーリングリストへの投稿は行わないでください）
- ・ 人材募集、年報報告等の自館園の情報提供
- ・ 複数の他館園に対する展示や学習支援活動など学芸業務等の質問や疑問等に関する意見交換
- ・ あくまでも公益性を担保した範囲での維持会員等による技術情報等の提供
- ・ その他、加盟館園にとって有益と思われる情報

(2) 次のような場合には投稿・発信をご遠慮ください。

なお、以下の場合が明らかとなった場合についての一切の損害については、全科協は一切責任を負いません。

- ・ 不法な目的若しくは犯罪にかかわる目的で本サービスを利用すること。
- ・ 嫌がらせ、中傷、誹謗、罵倒、脅し、有害、俗悪、わいせつ、その他性質の不埒なものを配信すること。

- ・ 公序良俗に反する行為、偏見、人種差別、憎悪を助長する行為、法律および規則を犯す行為、全科協、全科協加盟館園若しくは第三者に対し危害、損害を与える行為、あるいはそれらにつながる情報を配信すること。
- ・ ジャンクメール、スパム、チェーンレター等正当な通信目的以外のメールを送信すること。
- ・ 本サービスあるいは本サービスに接続されたサーバー、コンピュータシステム、ネットワークを妨害あるいは混乱させる行為。コンピュータウイルス等の有害なコンピュータプログラムを送信または掲載する行為。
- ・ 全科協、全科協加盟館園若しくはその他の第三者の著作権、言論権、特許権、企業秘密、知的所有権等の権利を侵害する行為若しくは第三者に不利益を与える行為。
- ・ 第三者の電子メールアドレスや虚偽の情報を投稿・配信すること。
- ・ 第三者の電子メールアドレスを含む個人情報をも本人の承諾なく使用、収集すること。
- ・ 全科協又は全科協加盟館園の名誉または信用を毀損する行為
- ・ その他、上記に該当するおそれのある行為またはこれに類する行為であると判断する行為を行うこと。

○メーリングリスト使用方法

(1) 参加方法

事務局（info(a)jcs.jp((a)は@に変換)宛てに参加申し込みのメールをお送りください。※メールの件名は「全科協メーリングリストへの登録希望」としてください。
登録が完了しましたら事務局よりご連絡を差し上げます。

(2) 投稿方法

メーリングリストを利用して情報を発信したい方は、その内容を hiroba(a)jcs.jp ((a)は@に変換)宛にメールで投稿してください。投稿はメーリングリスト登録のメールアドレスからのみできます。

(3) 削除について

異動、退職などでメーリングリストからの削除を希望される場合は、事務局（info(a)jcs.jp((a)は@に変換)宛てにメールをお送りください。※メールの件名は「全科協メーリングリストからの削除希望」としてください。
削除が完了しましたら事務局よりご連絡を差し上げます。

全科協令和7年度第1回総会 事後アンケート

お忙しいところ第1回総会にご参加いただきありがとうございました。今後の運営の参考にさせていただきますので、各項目について、該当する□にチェックしてください。また、ご意見・ご提案等がありましたら意見欄にお書きください。参加者個人としてご記入いただいて結構です。

右の二次元コードを読み取っていただくと、同アンケートを Google form で回答できますので是非ご利用ください。 URL: <https://forms.gle/axSSD1Q2uybu2Fy36>



		機関名				
1. 開催時期 意 見	☐ とても良い	☐ 良い	☐ ふつう	☐ 悪い	☐ とても悪い	
2. 総会の進行 意 見	☐ とても良い	☐ 良い	☐ ふつう	☐ 悪い	☐ とても悪い	
3. 情報交換会の内容 意 見	☐ とても良い	☐ 良い	☐ ふつう	☐ 悪い	☐ とても悪い	
4. 今後の記念講演について ご要望						
5. 今後の施設見学について ご要望						
6. 研究発表大会テーマについて(令和8年2月開催) ご要望						
7. 全科協ニュースでの特集テーマについて ご要望						

8. 第2回総会の開催館として開催のご希望があれば、機関名とお名前、ご連絡先をご記入ください

9. その他
意 見

【アンケートご提出先】全科協事務局 email: info@jcsn.jp

全国科学博物館協議会 令和7年度第1回総会

記念講演について

<講演タイトル>

21 世紀のワールドビルディング

<講演者について>

片岡 真実（かたおか・まみ）氏

森美術館館長

2003 年より森美術館キュレーター。チーフ・キュレーター、副館長を経て 2020 年より現職。2023 年度より国立アトリサーチセンター長兼務。CIMAM(国際美術館会議)では 2014～2022 年に理事、うち 2020～2022 年には初の非ヨーロッパ人として会長を務める。2025 年度より京都芸術大学大学院 ICA 京都所長。その他、光州ビエンナーレ、シドニー・ビエンナーレ、国際芸術祭あいち 2022 など芸術監督を歴任。日本及びアジアの現代美術を中心に講演・審査員等多数。

<講演内容>

私たちが生きる世界はどのような構造で成立しているのか。これはさまざまな専門分野が追究する普遍的かつ多様な問いである。欧米を中心に発展してきた現代美術は 1990 年代以降に多様な文化圏におけるモダニズムが再考され、美術史の再読も進んできた。そのなかでは多様な文化的・政治的・社会的な歴史やアイデンティティが頻繁に題材となる一方で、物理学、数学、宇宙論など自然科学分野に深い関心を示し、世界の普遍性について探究している作家も多い。本講演では後者の事例を中心に、現代美術館と自然科学系博物館との協働の可能性について論じたい。

令和7年度第1回全国科学博物館協議会
総会

参加証

JCSM
Japanese Council of Science Museums Newsletter

全国科学博物館協議会